

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 26 日

仕事の内容	清原図書館の運営			
担当部署・課長名	中央図書館	課	清原図書館	係 課長名 當摩 弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 2	-
【施策名】 生涯学習の充実	総合計画書 (ページ)	35	

予算名	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 3 図書館費	事業 4 清原図書館事業費
-----	----------	-----------	----------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	市の人口 (4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 読書意欲を喚起する	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 貸出冊数 →
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
	新刊、リクエストがあった本の購入。人気があり、利用が多く、その結果傷んだ本の買い替え。内容が古くなった資料の更新。 →	図書購入冊数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337		
	成果指標	②の数値	冊	133,193	131,982	128,279		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	冊	3,174	3,306	3,098		

3 経費	事業費(実績)		円	6,011,646	6,014,057	6,013,464	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円				
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	16,488,000	16,488,000	16,488,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	22,499,646	22,502,057	22,501,464		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	平成19年1月開館。市の南東部における図書館活動の拠点として事業を開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	図書館の存在が近隣住民に定着しつつある。「東大和市子ども読書活動推進計画」の制定により、児童サービスや学校等との連携の充実が求められている。開館日の増を求められている。	

仕 事 の 内 容	清原図書館の運営			
担当部署・課長名	中央図書館	課	清原図書館	係 課長名 當摩 弘

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	市議会定例会・予算委員会における意見 ●図書館の基本計画について 図書館についてのビジョンを示すべきである。 ●自動貸出機の導入について/指定管理者制度導入について 機械化により直営のままサービスを充実することができるのではないか。 ●小平市との相互利用について ●司書の配置について			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	③⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 図書館のボランティアは、どの分野においてもある程度の専門技能が必要であるため、継続的な育成が必要である。			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 多様化する利用者のニーズに対応できる蔵書を構築する必要があるが、予算及び収納スペースが限られている。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 ●書架及び利用動向、社会動向を注視しながら、図書を購入した。 ●開館当初からある蔵書を精査し、内容の古くなった資料の更新を行った。 ●書庫スペースを有効活用するため棚板を追加購入した。 ●ブックフェア(図書展示会)に参加し、幅広い図書の購入に活かした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ①整架・除架等書架維持管理にあてる時間の確保。 ②展示コーナー、館内案内黒板等の有効な活用。読書意欲を高めるさらなる工夫。 ③学校、保育園、幼稚園との連携。積極的に団体見学を受け入れ、本の魅力を広める。			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」)の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ●図書の購入にあたり、常に書架及び利用動向、社会動向を注視する。 ●内容の古くなった資料の更新を行いつつ、将来への財産として残す蔵書にも目配りが必要である。特に開館当初からある蔵書について内容の精査を行うべきである。 ●利用者からのリクエストに誠実に対応しつつも、特定の分野に資料が偏らないよう留意する。 ●書庫スペースの有効活用。 ●第3木曜日の定期休館日は、極力書棚の維持管理に時間を割く。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ①整架・除架等書架維持管理にあてる時間の確保。 ②展示コーナー、館内案内黒板等の有効な活用。読書意欲を高めるさらなる工夫。 ③学校、保育園、幼稚園との連携。積極的に団体見学を受け入れ、本の魅力を広める。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。